

価格の働きと金融 ②価格の働き

○価格の働き

価格の上がり下がりにより、生産量を調整している

Q 価格はどのような働きをしているのか考えよう

- ・市場経済では価格の働きにより、労働力、土地、資金などの生産資源の流れを調整し、それぞれの商品の生産に適量だけ使われるようになる。そのため、価格の働きによって生産資源が無駄なく効率的に生産される

などが書けていれば○

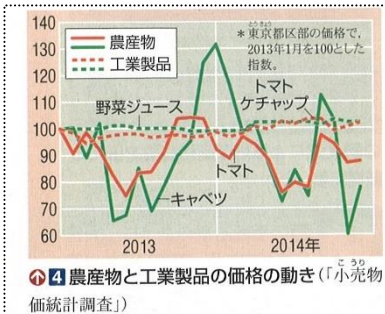
○様々な価格の決まり方

①独占価格＝製品の供給を調整しやすい工業製品に多くみられる

Q 農産物と工業製品の価格の動きにはどのような違いがあるだろうか？また、どのような違いが生まれる理由は何だろうか？

〈違い〉 農産物は価格の変動が大きく、工業製品は価格がほぼ一定である。

〈理由〉 農産物はたくさん収穫できる時期とそうでない時期があるため、供給量の変化に合わせて価格が変動する。一方、工業製品は生産量を調整することができるため、消費量に合わせて生産することができるため、価格が一定している。



では、工業製品はどのように価格を設定しているのだろうか？

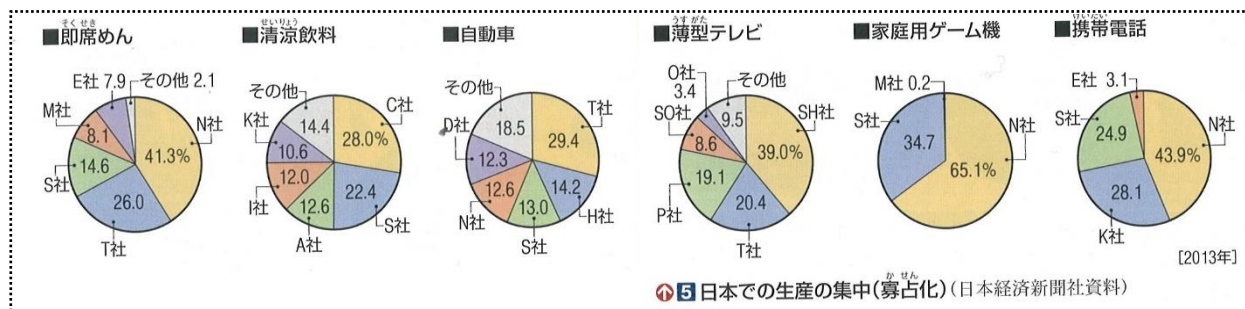
→各企業が利益を見こんで価格を設定している



特に、独占や寡占市場においては少数の企業が足並みをそろえ価格を決定している

独占：市場で商品を提供する企業が1社だけの状態

寡占：少数の企業が市場で商品を提供している状態



このような状態では・・・

価格競争が弱まり、消費者は不当に高い値段を支払わねばならなくなる

対策 ・独占禁止法を制定し、公正取引委員会がそれを運用

②公共料金＝水道、ガス、電気などの価格にみられる

→大きく変動すると国民生活に大きな影響を与えるため
国や地方公共団体が決定している